

平成 26 年度 事前評価点検表（内部評価）

事業名	主要地方道 富田林泉大津線 交差点改良事業	
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）	
事業箇所	和泉市室堂町（室堂町北交差点）	
目的	<p>本交差点は、主要地方道富田林泉大津線（通称：泉北 1 号線）と国道 480 号が交差する箇所であり、泉北 1 号線の南北方向において、特に朝・夕のピーク時に慢性的に渋滞が発生している。また H26 秋に、近隣に大型商業施設が相次いで開業し、流入する車両が増えており、さらなる交通渋滞を引き起こしている状況である。</p> <p>このため、室堂町北交差点内に南行き・北行きともに 1 車線を追加することにより、渋滞緩和を図ることを目的とする事業である。</p>	
内容	<p>交差点改良（北・南行きともに直進 1 車線を追加）</p> <p>北行き 延長：L=430m 南行き 延長：L=285m （現況） 幅員：W=10.0m 南・北行き 直左 1 車線 直進 1 車線 右折レーン 1 車線 （計画） 幅員：W=13.0m 南・北行き 直左 1 車線 直進 2 車線 右折レーン 1 車線</p>	
事業費	<p>全体事業費：約 1.75 億円 （内訳） 調査費等 約 0.05 億円 工事費 約 1.7 億円</p>	
	【事業費の積算根拠】 予備設計から数量を算出 事業費は積み上げにより算出	【工事費の内訳】 舗装工 約 0.7 億円 改良工 約 0.6 億円 交通安全施設工 約 0.4 億円
事業費の変動要因	【今後の事業費変動要因の予測】 特になし	
維持管理費	5.0 百万円／年・k m	
関連事業	特になし	
上位計画等における位置付け	大阪府都市整備中期計画（案）（H24.3）	
優先度	H26 年秋に周辺で大型商業施設が相次いで開業し、週末はさらなる渋滞を引き起こしており、この地域の喫緊の課題であることから、早急な対策が必要である。	

事業を巡る社会経済情勢等	<p>○当該道路の状況 朝のピーク時に室堂北交差点を先頭に、南行き 730m、北行き 620m の渋滞が発生している。</p> <p>○現況交通量（室堂町北交差点 観測値 平成 25 年 2 月） 和泉中央駅 → 光明池駅 昼間 12 時間交通量 16,084 台 最大滞留長 730m 発生時間 8:20 通過時間 8 分 21 秒 光明池駅 → 和泉中央駅 昼間 12 時間交通量 18,148 台 最大滞留長 620m 発生時間 8:20 通過時間 7 分 35 秒</p> <p>○交通事故発生状況（室堂町北交差点より東西南北方向 200m 区間） H23～25（3 年間）： 71 件（うち死亡事故：1 件）</p>
地元の協力体制等	地元市より和泉中央駅周辺での慢性的な交通渋滞の解消について、強い要望がある。
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	交通安全事業における費用便益分析手法は確立されていない。
事業効果の定性的分析 （安心・安全、活力、快適性等の有効性）	<p>【効果項目】</p> <p><活力> ・渋滞解消による走行性の向上、定時性の確保</p> <p><快適性> ・通行性の向上 ・渋滞緩和による大気汚染、騒音などの地域環境の改善</p> <p>【受益者】 沿道住民、道路利用者</p>
事業段階ごとの進捗予定と効果	平成 26～27 年度：工事
完成予定年度	平成 27 年度
代替手法との比較検討	本箇所でも円滑な交通を確保するためには、現在の交差点内に 1 車線増やすことが最善策であり代替案はない。
自然環境等への影響とその対策	周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に影響を与えることはない。
その他特記事項	特になし
評価結果	<p><u>事業実施</u></p> <p><判断の理由> 室堂町北交差点から南北方向に慢性的に渋滞しており、また近隣に大型商業施設が相次いで開業したことから、さらに流入交通量が増加している。このため、南・北行きともに 1 車線を増やすことにより、渋滞を緩和することができることから「事業実施」とする。</p>

平成26年度 事前評価 (主要地方道 富田林泉大津線 交差点改良事業)

